

領域別項目対照表

大学院名: 群馬大学大学

■ 科目番号と項目番号

研究科名: 教育学研究科

別紙「科目番号と項目番号」を参照し、下表の科目番号項目番号欄に記入してください。

担当者名: 霜田 浩信

記入例 1-(1)、実1-(1)

科目名: 発達心理学特論Ⅱ

No.	授業スケジュール	主な内容	科目番号 項目番号	(認定委員会記入欄)
1	イントロダクション	発達の理論、発達課題、発達査定を概観し、発達の視点からの事例理解をする大切さを学ぶ。	3-(1)	
2	発達心理学の意義	発達心理学の理論に基づき援助活動を行うことの意義を学ぶ。特に学齢期から青年期にかけての学校教育の問題への援助、発達障害児者への援助、悩みを抱える人への援助のあり方について考察する。	3-(1)	
3	認知の発達	乳児期の知覚、学習、記憶、および知能について学び、幼児期・児童期の知能とどのように関連しているかについて考察する。	3-(2)	
4	認知・思考の発達	論理的な思考の発達過程を学び、人の適応性、順応性、柔軟性について考察する。	3-(2)	
5	自我の発達1	幼児期から児童期にかけての自己意識形成から青年期における自我同一性の形成にいたる過程を学び、自尊感情や有能感の獲得、さらには周囲の人との価値観・規範との葛藤を考察する。	3-(3)	
6	自我の発達2	自我同一性の形成過程における拡散、早期完了、モラトリウムを学び、意志決定、有意義な選択について考察する。	3-(3)	
7	他者理解の発達	社会化の認知的基盤として、他者の心の理解を「心の理論」研究に基づいて学習し、他者とのやりとりや内的状態を表す言葉の発達を考察する。	3-(3)	
8	言語の発達1	言葉の発達過程を学び、コミュニケーション能力や思考力の発達との関係を考える。	3-(5)	
9	言語の発達2	音声言語発達・書記言語発達、および語彙の獲得、文法の獲得を学び、言語発達の援助方法について考察する。	3-(5)	
10	社会性の発達1	他者への気づき、共感の発達について学び、親や友達とのかかわりへ展開について考察する。また愛着の形成がもたらす社会性の発達への影響を学ぶ。	3-(4)	
11	社会性の発達2	幼児期の道徳性の発達、善悪判断の発達について学び、児童期における他者との関係性の築き方、社会的スキルの獲得について考察する。	3-(4)	
12	社会性の発達3	青年期から成人期にかけての脱中心化、役割取得の発達から普遍的な倫理原則に基づいた行動への展開について考察する。	3-(4)	
13	あそびの発達1	幼児期における思考・意欲の発達と遊びとの関連を学び、イメージを使った遊びの発展、友達との遊びへの展開、ルールのある遊びへの展開を考察する。	3-(4)	
14	あそびの発達2	学齢期における遊びの特性を学び、子ども達の集団構成と集団関係のあり方を考える。	3-(4)	
15	教育と発達	「教えること」と「育つこと」とは何かを考察する。	3-(1)	

※ シラバスを添付してください。